

武雄市図書館
子ども司書講座新聞 第4号 2013.10.12(土)

第4回目は、カウンターでの貸出・返却、配架、本の修理に挑戦します！

1 カウンターのお仕事 貸出・返却

武雄市図書館の本には、バーコードとICタグが貼ってあります。ICタグをリーダーで読み取って、パソコンで貸出・返却処理をします。返却もれや貸出もれがあつては、利用者さんにご迷惑をかけてしまうことになるので、冊数がきちんとあっているか確認して、ていねいに処理します。もし返却日の過ぎていた本があれば、利用者さんにおたずねします。また、返却本はシミや汚れ、ぬれあとがないか、しおりやレシートが挟まっていないかなど、次の利用者さんが気持ちよく利用することができるように細かくチェックします。本の修理が必要なものは別に分けておきます。さらに、新着本や書庫の本は分けてカートに並べて、配架しやすいようにしています。一見簡単そうに見えるけど、細かく大変な作業だということがわかりました。



2 配架



返ってきた本を元の棚に戻す作業のことを、配架といいます。新しくなった武雄市図書館では、それぞれのジャンル別に配架しています。また、そのジャンルの中でも、背ラベルのNDC順や、五十音順に並べている所もあります。みなさんていねいに配架できていましたよ！

3 本の修理

まず司書さんから、本の修理について説明がありました。本の修理には、ブッカー、ブッカーばさみ、ページヘルパー、ビニダイン、ソルベント等、色々な専用の道具を使うことを知りました。たくさんの方が利用する図書館の本は、大切な武雄市の財産です。利用者の方に、気持ちよく、長く利用してもらうためには、細かな修理が必要だということを学びました。それぞれの道具には、使い方にコツがあります。また、その本の状態によって、道具を使い分ける必要があります。みなさん、最初は慣れない作業にしんちょうにしんちょうに修理していましたが、慣れてくると、びっくりするほどスピードアップ！わからないことはどんどん積極的に質問してくれて、とてもうれしかったです。夢中で頑張っている姿がステキでした！



ビニダインやページヘルパーを使って修理中♪

今回は、盛りだくさんの内容でしたね。カウンターでのお仕事体験は時間が少し足りなかったようなので、よかったらまたお休みの日にお手伝いに来てくださいね。待ってます！

第6回 予告

今回は、歴史資料館の学芸員さんに武雄の歴史について教えていただきます。みなさんのふるさと、武雄について新たな学びがきっとありますので、お楽しみに！



